

児童が小矢部川上流で水生生物や水質を調べました (福光南部小学校)

7月17日(火)に、南砺市立福光南部小学校4年生が、小矢部川の上下流の2箇所で水生生物や水質を調べ、身近な川の環境を学びました。学校では今年度より総合的な学習の時間の授業として行い、富山河川国道事務所が協力しました。

当日は4年生24名、先生2名が参加し、先ず学校から10km程下流の合口橋(津沢中学校付近)で調べました。COD(化学的酸素要求量)、アンモニア、透明度等を調べました。水生生物調査では、児童が川の中の石の下から、「きれいな水」に棲むヒラタカゲロウや、「ややきれいな水」に棲むコガタシマトビケラを確認しました。

この後、上流の南砺市嫁兼橋へ移動し、同様な調査を行いました。下流に比べ生活排水の流入が少ないため、CODの値が低く、「きれいな水」に棲むカワゲラやナガレトビケラ、サワガニ等がたくさん見つかりました。

参加した児童は、「ちっちゃい虫が石の裏にいっぱいいたのすごいなと思った」や「いろんな見たこともないものがたくさんいたので面白かった」などと話していました。



水生生物調査 合口橋



透明度測定 合口橋



水生生物調査 嫁兼橋



集合写真 嫁兼橋



国土交通省

富山河川国道事務所 河川管理課

〒930-8537 富山市奥田新町2番1号 Tel.076-443-4701 (代)

ホームページ: <http://www.hrr.mlit.go.jp/toyama/>